



わたうち

〔令和7年度 学校スローガン〕
全員が「よりよくなろうとする力」を発揮！誰一人取り残さず「わくわく」があふれる綿打中学校

令和7年10月27日
No.13
太田市立綿打中学校





秋戯祭終わる・・・

Fantastic!!



「まじめにやり遂げる」すがすがしさ！

今年の秋戯祭を英語で表現するなら「Fantastic!(すばらしい! あっぱれ!)」でしょうか。合唱を作り上げるまでには、毎年どのクラスにも必ずドラマがあります。時にはトラブル(もめごと)が発生することもありました。困難と疲労感を乗り越えて、生徒も先生も全力を尽くしてよく頑張りました。本番の4分間のために、どれだけの時間を費やしたことでしょう。本番のステージで一生懸命歌う姿を見て、じーんと胸が熱くなりました。涙を流している先生もいました。綿打中学生の底力(そこぞから)を感じ、この学校の一員であることを誇りに思います。

秋戯祭を通して「時間をかけて準備することの大切さ」「まじめにやり遂げることのすがすがしさ」「表現をすることの楽しさ」など、たくさんのことを実感することができたのではないかと思います。いつも言っていることですが、行事は、その後が肝心です。賞を取っても取らなくてもいいクラスになったかどうか大切です。ともに頑張り抜いた仲間と過ごす教室の雰囲気が、さらに居心地のよいものになることを願っています。

〔合唱コンクールの結果(敬称略)〕

	1 年	2 年	3 年
最優秀賞	A 組	C 組	A 組
優秀賞	B 組 C 組	A 組 B 組	B 組
最優秀指揮者賞	高橋 徹真 (3 年 B 組)		
最優秀伴奏者賞	高萩 有乃 (3 年 A 組)		

〔学校長の感想〕

【第1部 (合唱コンクール)】



「COSMOS」1 B

一番目に歌うクラスは特に緊張します。模範となる態度と合唱で、よいスタートを切りました。「光の声が～♪」のところの転調・強弱、完璧でした。



「地球星歌～笑顔のために～」1 A

声量がしっかり安定していて、男声と女声のまとまりがすばらしい合唱でした。他のクラスの人も思わず歌ってしまうほど、影響力がありました。

“本番の4分”のために、どれだけの時間を費やしたか計算してみると、「1000分」になります(××)の時間をかけて作り上げた合唱だからこそ、心に響くものに(約)なるのではねー!! ホント、よくがんばりました!!



「マイバラード」 1 C

「僕の～歌を乗せて」の「の～」のハーモニーが決まっていた。テノール4人でよく支えました。最後のハミング、美しく響きました。



「空駆ける天馬」 2 C

「地の声を～天の声を～」で心をつかまれました。最後の「天馬～あ～あ～」が耳に残り、真似する人がたくさんいました。曲想・一体感◎です。



「君とみた海」 2 A

指揮者が全身で強弱を指示し、言葉やイメージを大切に歌っているのわかりました。8月の青く輝く海が、ステージの背景に見えるようでした。



「心の瞳」 2 B

優しいピアノの音色と美しいハーモニーで、丁寧に歌い上げました。「愛すること～」の盛り上がり引き込まれました。心が癒される合唱でした。



「信じる」 3 B

「大口開けて～」堂々とした歌い出しに鳥肌が立ちました。一人一人の歌う顔に中3の本気を感じ、「やるときはやる」先輩の姿に、皆感動しました。



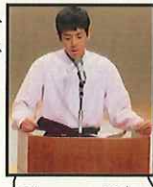
「手紙～拝啓 十五の君へ～」 3 A

「Keep on believing」の重なりに圧倒されました。中3の覚悟を感じ、後輩たちの良きお手本になりました。全身で表現して歌う姿、完璧でした。

【第2部】



オープニングは旧生徒会の皆さんで鬼滅の劇を披露!!



障がい「障がい」ではなくするために...

いかりの主張に感動の涙!



(笑点、アンパンマン、皆が笑顔になって拍手しました!!)



エフター、すいね!

私たちの新たな一面を発見の選曲も抜群で、皆ノリノリでした!



最後は、先生たちも登場! 吹奏楽部の「かわいーだけじゃだめですか」とコラボの「綿打ラブじゃだめですか?」「綿打ラブでいいですよ!」

大知郎